

桃が教えてくれたこと

埼玉県戸田市立戸田第一小学校 六年 渡辺 恵茉

私の祖父母は和歌山に住んでいます。そして毎年、おいしい桃を送ってくれます。その桃は柔らかく、甘くてジューシーで、食べると幸せな気分になります。

しかし、今年送つてくれた桃は、いつも祖父母が送つてくれる桃とくらべてかたかったです。そこで、桃がかたい理由を母に聞いてみました。母が言うには、地球の気候変動によつて桃を収穫する時期の見極めが難しくなつてゐるから、だそうです。気候変動によつて地球全体の温度が上昇することで、桃が熟れる速度も上がり、やわらかい桃を美味しいまま配達することが少し難しくなつてゐるので、まだかたいうちに送つてくれているそうです。

桃と気候変動についてもう少しよく調べてみると、異常気象のせいで桃農家の人が深刻な打撃を与えてゐるということがわかりました。大雨がふり、猛暑になり、虫が大量発生してゐるそうです。異常気象のせいで虫が大量発生してゐるということは意外でした。気候変動がさらに進行していき、もしかしたら日本の桃農家さんたちや、ほかの果物を育ててゐる農家さんたちが職を失つたり、日本の桃をもう食べることができなくなるかもしれないということが心配です。

地球の気候変動と桃と関係があると思い、地球温暖化と食料の関係についても調べました。すると、気候変動が引き起こす気温の上昇や異常気象により、作物の収穫量など様々なところに影響があるということがわかりました。使うものの節約をすると地球温暖化の緩和につながるそうです。

桃がきっかけになり、異常気象が引き起こすことや異常気象が起つてゐる原因、対策まででも知ることができました。桃のため、食料のため、地球温暖化の進行を緩和するための行動を取りたいです。